

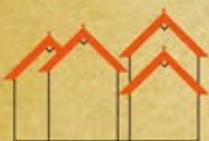
琉球政府文書

デジタルアーカイブ

琉政だより

The GRI Records Digital Archive
1945・1972
GRI: Government of the Ryukyu Islands

インターネット公開、はじまる。
— 未来に残す宝物 —



沖縄県公文書館
Okinawa Prefectural Archives

沖縄県公文書館



「アメリカ世」の沖縄が、ここにある。

沖縄県公文書館が所蔵する琉球政府文書（通称「琉政文書」）には、戦後の沖縄のあゆみが記されています。この貴重な琉球政府文書は、現在沖縄県公文書館のホームページでその一部を見ることができます。

1945年から1972年にかけて、沖縄は米国の統治下に置かれていました。

1950年12月には、琉球列島米国民政府：USCAR (United States Civil Administration of the Ryukyu Islands) が発足し、1952年4月、USCARのもと、住民側の自治政府として琉球政府が設置されました。琉球政府は、沖縄が日本に復帰した1972年5月までの約20年間存続しました。

この間、琉球政府は多くの公文書を作成し、また収受してきました。この琉球政府が保管していた文書は、日本復帰に伴って発足した沖縄県に引き継がれ、1995年5月に沖縄県公文書館に移管されました。



会議録2 (0000072000)
 琉球諮詢会では、戦後沖縄の自治について熱心に議論されました。

琉球政府 行政府ビル (1958年)

1945 1946 1950 1951 1952 1953.12.25 1972.5.15



奄美	大島支庁 [1946.2-1946.10]	臨時北部 南西諸島政庁 [1946.10-1950.11]	奄美群島政府 [1950.11-1952.3]	
沖縄	沖繩諮詢会 [1945.8-1946.4]	沖繩民政府 [1946.4-1950.11]	沖繩群島政府 [1950.11-1952.3]	琉球臨時 中央政府 [1951.4-1952.3]
宮古	宮古支庁 [1945.12-1947.3]	宮古民政府 [1947.3-1950.11]	宮古群島政府 [1950.11-1952.3]	
八重山	八重山支庁 [1945.12-1947.3]	八重山民政府 [1947.3-1950.11]	八重山群島政府 [1950.11-1952.3]	

琉球政府以前の行政機構変遷図

戦後間もない頃の琉球列島は、奄美、沖縄、宮古、八重山の4つの群島別に統治されていました。これらの4群島の自治機構は、1952年4月に琉球政府に統合されました（奄美群島は1953年12月に日本に復帰しました）。当館所蔵の琉球政府文書には、これらの前身機関が作成・収受した文書も含まれています。

アメリカ合衆国 大統領



初代 ジェームス E.ムーア 2代 ドナルド P.ブース

琉球列島米国民政府 USCAR [1950.12-1972.5]



3代 ポール W. キャラウェイ 4代 アルバート ワトソン二世 5代 フェルディナンド T.アンガー 6代 ジェームス B.ランバート

Executive Order 10713
 Providing for Administration
 of the Ryukyu Islands
 大統領行政命令10713
 琉球列島の管理に関する
 行政命令について
 (RDAP000036)
 米大統領による「行政命令」に基づいて、高等弁務官制が施行されました。

琉球政府 [1952.4.1-1972.5.14] 歴代行政主席



比嘉秀平 1952.4-1956.10 当間重剛 1956.11-1959.11 大田政作 1959.11-1964.10 松岡政保 1964.10-1968.11 屋良朝苗 1968.12-1972.5

裁判所(司法) 行政府(行政) 立法院(立法)

琉球政府は、司法・行政・立法の三権を備えていましたが、その権限は、米国の「軍事的必要の許す範囲内」にありました。

アメリカによる沖縄統治

上の図は、高等弁務官制が施行された1957年以降の統治機構の概略です。

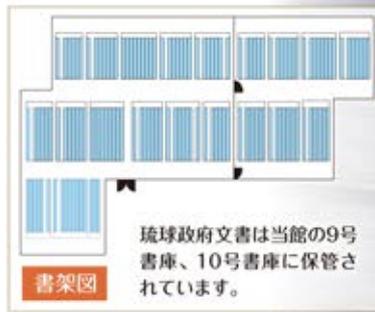
琉球政府文書の所蔵数は 約16万簿冊!

～書架総延長約6km～

沖縄県公文書館が保管する琉球政府文書の所蔵数は約16万簿冊にも及んでおり、書架の総延長は約6kmにも達しています。

琉球政府文書は、琉球政府閉庁時の10局1室を含め、全17項目の大分類から編成されています。

そこからは、当時の社会情勢が反映された記録や、人々の生活に身近な内容の記録も見ることができます。



例えば、こんな資料があります

1968年 夏の甲子園ベスト4「興南旋風」

1968年の夏の全国高等学校野球選手権大会で、興南高校はベスト4に入る快挙を成し遂げました。興南高校の活躍は「興南旋風」とも呼ばれています。



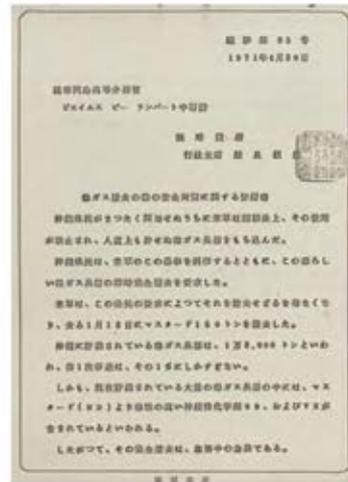
興南高校野球部パレード／那覇の国際通り
1968年 8月

興南高校チームの歓迎式典が、分刻みのスケジュールであったことがうかがえます。

興南高校野球チーム歓迎式書類
(R00000536B)

1971年 毒ガス移送

1969年のガス漏れ事故に端を発し、住民の間で毒ガス撤去の要求が高まりました。米軍基地への反感が強まることを懸念した米国は、沖縄からの毒ガス撤去を声明しましたが、最終的に沖縄から毒ガスが移送されたのは、発覚から2年が経過した1971年のことでした。



第1次毒ガス移送／搬送するトラック
1971年 1月

毒ガスの完全撤去が「急務中の急務」とであると記されています。この文面からは、当時の強い緊迫感が伝わってきます。

毒ガス撤去に関する資料綴
(R00004739B)

琉球政府文書がもっと身近に

公文書には、行政による政策の決定過程などが残されています。ふだん目にする機会はあまり多くない公文書ですが、じつは私たちの暮らしに密接に関わっています。タイムカプセルを開くように、「琉球政府文書デジタルアーカイブ」をのぞいてみてください。意外な発見があるかもしれません。

順次公開 お楽しみに!



琉球政府文書デジタルアーカイブ 琉政だより ガイド版

発行日:平成29年3月17日 編集発行:(公財)沖縄県文化振興会 公文書管理課

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川148-3 沖縄県公文書館内 電話:098-888-3875(代表) FAX:098-888-3879